

第3回経済委員会

1月22日(金)、第3回経済委員会を開催、委員長の豊田副会長はじめ45名が参加した。



今回は、提言書「新中部圏の創生 ～各地域の自助努力と連携による経済的自立性の向上～」の原案について最終審議を行った。

委員からは「具体的な提言で分かり易くまとまっている」「起業を奨励する提言があるとよいのではないか」「魅力ある地域づくりについて、もう少し踏み込んだ提言があるとよいのではないか」等、多数の意見が出された。

今回の委員会では出された意見を踏まえた上で修正案を取りまとめ、2月度正・副会長会および総合政策会議に上程することとした。

(調査部 加藤 慎哉)

第23回Next30産学フォーラム

1月28日(木)、第23回Next30産学フォーラムを開催、26名が参加した。

はじめに、名城大学工学部応用化学科助教の池邊由美子氏が「次世代の扉を開く超伝導～超伝導材料の応用を通して環境問題を考える～」と題して講演を行った。超伝導材料は冷やすことによって電気抵抗がゼロになることを説明し、現行の銅線を用いた送電を超伝導ケーブルに置き換えることができれば送電ロスがゼロになる

といった事例を紹介した。そして、超伝導材料の実用化が進めば、発電コストやCO₂の削減にもつながり、来るべき低炭素社会の実現に大きく貢献できると述べた。

次に、中部大学応用生物学部環境生物科学科講師の長谷川浩一氏が「線虫による生物農薬開発～寄生虫で害虫駆除できるか～」と題して講演を行った。多くの動植物や昆虫に寄生する線虫は、ギニアワームを代表に古来より人間にも寄生し、様々な病気を引き起こしてきたことを紹介した。一方、近年は農業病害虫を駆除する新たな手段として、線虫を利用した生物農薬の研究が進められており、今後、有機農業への普及が期待できると述べた。

続いて、中京大学スポーツ科学部スポーツ教育学科講師の和光理奈氏が「身体表現の可能性～身近な自己表現から舞台芸術へ～」と題して講演とワークショップを行った。ダンスの歴史と変遷、学校教育におけるダンスの必修化までの経緯紹介の後、参加者によるダンス体験に移った。音楽に合わせてリズムを取ったり、身体を動かしてお互いに自己紹介を行う身体表現を体験し、会場は大いに盛り上がった。最後に、和光氏による創造的総合芸術としてのダンス作品を鑑賞した参加者は、ダンスへの理解をさらに深めた。

その後の懇親会では、参加者が講師を囲み、それぞれの研究について意見を交わすなど、より一層の親睦を図った。

(産業振興部 水田 晴久)



第3回人材育成委員会

2月4日(木)、第3回人材育成委員会を開催、委員長の中村副会長はじめ22名が参加した。



大学の授業に企業から講師を派遣する「企業・人材プール」の今後の進め方について審議した。事務局案として、再来年度からの本格運用に向けて全会員大学・企業に同プールへの参加を募るとともに、大学と講師とのマッチングを、事前に企業が対応可能な講義等のリストを作成する方式に変更する旨を説明・提案した。

委員からは「そのカリキュラムを大学が単位の対象とするかで大きく左右される」「意義のある取り組みであり大いに活用したい」などの意見が出され、さらに実務面の検討を深めた上で実施することが承認された。

引き続き、来年度の委員会の活動計画について意見を伺った。

委員からは「観光産業に携わる人材やグローバル人材の育成の視点を加えてはどうか」「官との連携をもう少し意識してはどうか」「中部圏全体で取り組む姿勢が重要である」など、多くの意見が出され、これらを踏まえ活動計画の具体化を進めることとした。

(企画部 久保田 孝重)

第3回国際交流懇談会

2月5日(金)、第3回国際交流懇談会をJICA

中部にて開催、座長の藤野副会長はじめ38名が参加した。

今回は、「北歐・ドイツ経済視察団」の報告会ならびにフィンランドセミナーと交流会を行った。

はじめに、中経連が昨年11月10日～20日に派遣した「北歐・ドイツ経済視察団」(訪問国:フィンランド、エストニア、ドイツ)報告として、伊藤専務理事が社会保障制度、女性の活躍推進、IT活用、インダストリー4.0、職業教育等、各国の状況を報告した。

続いて、フィンランド大使館商務部上席商務官の木村正裕氏が「フィンランドの社会構造が支える国際競争力」について、また同大使館広報部プロジェクトコーディネーターの堀内都喜子氏が「男性も女性も輝く社会へ～フィンランドの歩みと今～」と題する講演を行った。両氏から、フィンランドの歴史や社会構造を踏まえて、同国の経済状況や医療・福祉制度、家庭や社会における男女の役割分担や労働環境・休暇取得の現状等、日本が少子高齢社会を迎える中で参考とすべき点について、わかりやすく説明いただいた。



木村 正裕 氏



堀内 都喜子 氏

次に、フィンランド航空名古屋支店長の高野明宏氏が講演を行い、フィンランド航空の活動とヘルシンキ空港の紹介をするとともに、中部国際空港との連携強化の重要性を訴えた。

今回の懇談会には、上記視察団員も多数参加し、懇談会後の交流会では、講師・委員・団員がフィンランドを含む欧州の最新情報の交換を行うとともに、互いの親睦を深めた。

(国際部 平山 りえ)